第６学年　総合的な学習の時間（人権）学習指導案

１　主　　題　　自分らしく生きる
２　主題設定の理由（省略）
３　ねらい
　それぞれの個性や立場を尊重し，様々なものの見方や考え方があることを理解するとともに，互いに認め合い，自分らしく生きていこうとする態度を育てる。
４　指導計画

本主題の中心となる人権学習	主題に関わる教科等・行事
〔第一次〕学級活動「“権利”って何だろう」（ひかり）【人権尊重】１時間 人権に関する法律や条約があることを正しく理解させ，自他の権利を大切にしようとする態度を育てる。 ⇩ 〔第二次〕総合的な学習の時間 「こんな“自分”になりたい」Part１ 【個性尊重】【多様性】12時間（本時9/12） それぞれの個性や立場を尊重し，様々なものの見方や考え方があることを理解するとともに，“他とは違う自分”を大切にし，互いに認め合って生きていこうとする態度を育てる。 ⇩ 〔第三次〕道徳科「小さなかけ橋」（ひかり）【ハンセン病回復者】１時間 ハンセン病に対する不十分な認識から差別や偏見に苦しんできた人たちの思いや願いについて知り，自分自身が差別解消の主体者になるためにはどうしたらよいかを考えさせる。 ⇩ 〔第四次〕道徳科「識字学級と学習会」（ひかり）【同和問題】２時間 識字学級の意義を知り，識字学級生の前向きな生き方に学び，文字を学ぶことが差別に打ち勝つ重要な取組であることを理解させ，差別をなくしていこうとする態度を育てる。 ⇩ 〔第五次〕総合的な学習の時間 「こんな“自分”になりたい」Part２ 【未来に向かって】８時間 自分の将来の夢や生き方について考え，なりたい自分に向かって誰もが自分らしく生きていける社会をめざそうとする態度を育てる。	○総合的な学習の時間 「もっと知ろうふるさと那賀」 【ふるさとに誇りをもつ】【自分らしく生きる】20時間 那賀町で暮らしている人との関わりを通して，自分の仕事，地域の文化や自然等に誇りをもって生活することのすばらしさに気付き，一人の人間としての在り方や将来を生き抜いていく力を育てる。 ○国語科「サボテンの花」「生きる」【自分らしく生きる】４時間 どのように生きることが大切なのかを話し合い，「生きる」ことについて多面的に考えさせる。 ○朝の活動 「たまごちゃんたびにでる」（絵本） 「タンタンタンゴはパパふたり」（絵本）他【性の多様性】 様々な家族に出会うことを通して，多様な家族の在り方について理解し，同性婚や自分の家族を認め，家族を大切にしようとする態度を育てる。 ○道徳科「ミッキーマウスの誕生」【夢に向かって】１時間 自分を向上させることの大切さについて考え，より高い目標を立て，努力しようとする心情を育てる。

5　本時の学習

（1）目　標

誰もがもっている自分らしく生きたいという思いや願いに気付き，その思いや願いを尊重しようとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ　自分らしく生きる

個別人権課題名　　性的マイノリティの人権

（3）展　開

学　習　活　動	指導上の留意点（評価）
1　本時の学習課題をつかむ。	○　これまでの学習を振り返り，本時の学習への方向付けをする。
2　性的マイノリティの人たちがどのような思いや願いをもって生活しているのかを想定して考える。	○　具体的な場面について考えさせる。 ・写真等を提示し，具体的な場面について想起しやすいように支援する。 ・話し合う中で，性的マイノリティの人たちが日常生活の中に生活しにくい場面が多くあることに気付かせる。
3　性的マイノリティの人たちが「自分らしく生きていく」には，どうしたらよいのかを話し合う。	○　物理的な面だけでなく，精神的な面で性的マイノリティの人たちが自分らしく生きやすい社会にするために，自分ができることを考えさせる。　（ワークシート・発言）② ○　自分と友達との考えの共通点や相違点等について意識しながら聞き，考えが深まるように支援する。
4　本時の学習を振り返る。	○　それぞれの「ちがい」を尊重し，認め合える社会にしようとする意欲を高める。　①

（4）評　価

・　自分らしく生きたいという思いや願いを尊重していこうとする意欲が高まったか。（価値的・態度的側面）①

・　性的マイノリティの人たちが自分らしく生きたいと思っていることに共感することができたか。（技能的側面）②